

日刊 磐城時報

編輯部 磐城郡平町 印刷部 磐城郡平町 發行部 磐城郡平町 電話 磐城郡平町 印刷部 磐城郡平町 發行部 磐城郡平町

突如發狂して

母と兄に傷害 大錐を揮つて兇行 犯人は直ちに逮捕

高久村大字神谷作農鈴木松次平を檢舉本署に引致したが、辰男辰平(三六)は昨四日午後六時平は極度に昂奮してゐるので同頃自宅土間で洗足山の實兄一平夜はそのまゝ留置したが、發作の背後から突如躍りかゝつて、精神異常の結果兇行に出たもの尖三寸余の大錐で一平の右腕を刺し、今日早朝共濟病院長石根に突刺し全治二週間の要する山博士を迎えて精神鑑定中である重傷を負はせ辰平の暴行を取り、被害者兩名は同村鈴木密鎮めんとした貸母ミ、六二〇の院に昇り込み應急加療中だが實胸部、足部、顔部等十數ヶ所を母ミは仲々の重傷で全治一ヶ月減茶に突刺して瀕死の重傷を負はせ、尙事件の裡面負はせた、急報により馳せ付けには財産相續の事かららしいこと駐在巡査が漸く兇器を奪ひ戻されてゐる。

好間隅田川礦出水

幸いに死傷なし 直ちに復舊工作

全力を注いで排水に努め、直ちに復舊工作

四日午後九時頃好間村小田吉治名の死傷者も出さなかつた。氏經營好間村隅田川炭礦元山坑同坑は一日二百三四十噸の出炭々々口から三千尺の最下部で爆破量を有する優良礦で出水は舊廢用して此の貯立金合計四百餘圓を一文も償還せず全額横領他に尾の活躍中であるが、潮流の關二萬圓を豫定してゐた小名濱大日午前八時頃集金に出た主結果内郷村大字宮字宮澤二に居住してゐる知人の加藤一方に潜居してゐるらしい形跡あるので、接角呈した最高級の諜辭もおぢやん。

同様になつたが各炭礦から應援をうけて四百七十立方のポンプを用意したからこれで極力排水を行ふつもりである。或ひは又他に坑道を掘つて復舊するか何れにしてもこのまゝには放棄せぬ決心で必らず復舊するつもりである。勿論從業員も從前通りにしておくに損害二十萬圓と言はれる程の不慮の災害に遭ひ乍ら流石は小田氏らしく頗る意氣軒昂たるものがあつた。

貯蓄會の貯金を 全額横領費消

小松町議等八名被害 請負業高橋利太郎に

平町南町土木請負業高橋利太郎(四二)は去昭和七年十二月中旬町居住町會議員小松茂外八名と共に昭和更生會を創立縣農工銀行から低利資金一千圓を借り入れて會員の金融機關と爲してゐたが農銀からの借入れ金償還方法として利用會員から日賦で五錢乃至十五錢宛を貯み立て、置

青訓旗寄贈

大浦助役美舉

大浦村助役佐藤信敬氏は私費四十圓を投じて青年訓練所旗一旗を新調し同村青年訓練所に寄贈する事になり今月中旬小学校で贈呈式を舉行する。

郡内視察

本縣矢吹町青年團員約三十五名は同町農業技術員須藤幹事引率の下に三日石城郡下模範農村視察の爲め來郡神谷農試分場、草野村内農業等を視察四倉町海氣郡内第一の僻地だけに賭博が唯一の娛樂と言ふ想像も出来ない風習があり同村を中心し荷路夫貝泊、石住の各村では殆んど弄花、丁半賭博を知らない者は無い程で貝泊村會議員志賀直一外連類者百余名に達して居り植田署の疾風の活動に同方郡民は何れも恟々としてゐるが、此の大檢舉で同方郡舊來の弊風を一掃出来るものと期待をかけられてゐる。

僻地田人方部の 大賭博團檢擧

疾風の植田署の活動で 弊風一掃を期待

田人村村會議員蛭田千代助(五)豫定の三割内至二割の收獲減と六)外同村青年團員等が去一日見られるに至つた。不漁の原因來連日村内山林中に現金賭博の花は天候不順による潮流の干係か合大賭博を開帳してゐる事を探らでゐるらしい。

悲惨な夏職漁業

大數網は豫定の二割減 不漁の原因は潮流變化

各濱書入れの夏職漁期も愈々終間、小名濱、平海、四倉等各地當時東京市芝區入横町前川勇次尾の活躍中であるが、潮流の關二萬圓を豫定してゐた小名濱大日午前八時頃集金に出た主結果内郷村大字宮字宮澤二に居住してゐる知人の加藤一方に潜居してゐるらしい形跡あるので、接角呈した最高級の諜辭もおぢやん。

縣參一行

綴坑内視察

縣參事會會計檢査の一行は今五日平署、縣立磐城女校の出納檢

主催 東京 明倫會
日時 九月七日午後七時
場所 平町 聚樂館

非常時局大演說會

皇國の危機に直面して
陸軍少將 工藤 豪吉
軍縮問題の裏面
海軍大佐 橋本 才輔

少店員逃走

査後國寶白水阿彌陀堂見學、磐城炭礦坑の坑内視察を爲した群馬縣伊香保町大字伊香保生れ時東京市芝區入横町前川勇次郎方雇人野口宗三郎(一八)は一昨午前八時頃集金に出た主結果内郷村大字宮字宮澤二に居住してゐる知人の加藤一方に潜居してゐるらしい形跡あるので、接角呈した最高級の諜辭もおぢやん。



東洋軒歸郷公演

四倉町字新町出身で現在浪曲界の新人花形として知られてゐる東洋軒雲雷師は歸郷を好機として十一、二の二日間同町海盛座で謝恩公演する事になつた。

